

地域公共交通網形成計画に係る想定される調査 26年度(11月～)

【調査1】

●都市マスタープラン(将来の都市の空間構成のイメージ、将来都市構造)と現状の公共交通網の整合性について整理を行う。

【調査2】

●赤字路線バスの増加、乗合タクシー等の補助費の増加等の切迫した赤字状況の現状把握調査。

【調査3】

●路線バスの需要と供給バランスの調査。
・路線の状況は需要とマッチしているのか検証し、場合によっては路線変更案等を示す。
・適正なバスの運行本数の基準を提案したうえで、需要に見合う適正な運行本数を導き出す。

【調査4】

●JR九州及び松浦鉄道の役割と路線バスの果たす役割の整理。
・鉄道ダイヤの充足度
・鉄道とバス、鉄道どうしのダイヤの連携状況

【調査5】

●市内利用者や来訪者の視点から利便性向上策や利用促進策の事業の提案。特にバスについては、それらの内容を将来的な地域協働推進事業計画につなげることで新たに国のフィーダー系統の補助対象となり得る路線の可能性調査を行う。

【調査6】

●上記の調査及び既存のデータ等から現時点でのとりまく環境や課題把握、まちづくりと連携した公共交通の役割、方向性の整理、目標の設定、それらを実現するための事業概要等を取りまとめた公共交通網形成計画案の作成。